沿革および創業からの業績推移

創業期 1970年代

1970.3.6.
船井幸雄が設立

㈱日本マーケティングセンターを設立（現・㈱船井総研ホールディングス）企業経営の総合診断を主業務とする

1970.9.
コスモスクラブを設立

経営者のための経営戦略研究会として会員制組織コスモスクラブを設立

1972.
「変身商法」が大ベストセラー

船井幸雄著の「変身商法」が40万部の大ベストセラーとなり、業績が急上昇。競争至上主義的コンサルティングからの方向転換が徐々に行われていく

コンサルティング業界初上場 1980年代

1981.
上場準備を始める

経営コンサルタントという仕事を世の中に認められることを目指すため、上場準備を始める。また、船井幸雄一人に頼る体制を改めるため、業務の大半を社員に委譲し始める

1985.3.

商号を㈱船井総合研究所に変更

1988.9.

コンサルティング業界で初めて、大阪証券取引所第2部市場特別指定銘柄（新2部）上場

サービス業への展開 1990年代

1990.3.
流通業主体からサービス業主体へ

本告正が2代目社長に就任。流通業主体の経営コンサルティングからサービス業主体へとシフト

1993.6.

大阪証券取引所第2部市場に指定替え

業容拡大期 2000年代

2000.2.

㈱船井情報システムズを設立（現・連結子会社。2014.7.に㈱船井総研ITソリューションズに商号変更）

2000.3.
「ギアチェンジ」による業容拡大へ

小山政彦が3代目社長に就任。「ギアチェンジ」をキーワードに改革を進め、業績、従業員数とも成長軌道へ

2004.12.

東京証券取引所第2部市場に上場

2005.12.

東京・大阪両証券取引所第1部市場に指定替え

組織再編及びグループ経営のスタート 2010年代

2010.3.
「自律・自由・連帯」を経営方針へ

高嶋栄が4代目社長に就任。「自律・自由・連帯」を新方針に掲げ、グループ経営の礎となる方針を制定。従来の「成長実行支援」に加え「グレートカンパニー創り支援」を企業の存在意義に据える。第1回グレートカンパニーアワードを開催（以後、毎年開催）

2018年第9回グレートカンパニーアワード

2012.1.

中国に船井（上海）商務信息咨詢有限公司を設立（現・連結子会社）

2014.1.

船井総研ロジ㈱を完全子会社化（現・連結子会社）

2014.7.

持株会社体制へ移行。商号を㈱船井総研ホールディングスに変更し、経営コンサルティング事業を㈱船井総合研究所へ、営業サポート業務を㈱船井総研コーポレートリレーションズへそれぞれ事業継承

2015.2.

㈱プロシードを完全子会社化（現・連結子会社）

2016.3.

中核事業会社である㈱船井総合研究所の社長に中谷貴之が就任。従来の成長実行支援に加えて、人材開発支援と価値向上支援を展開。経営課題にワンストップで対応できる組織体制とした

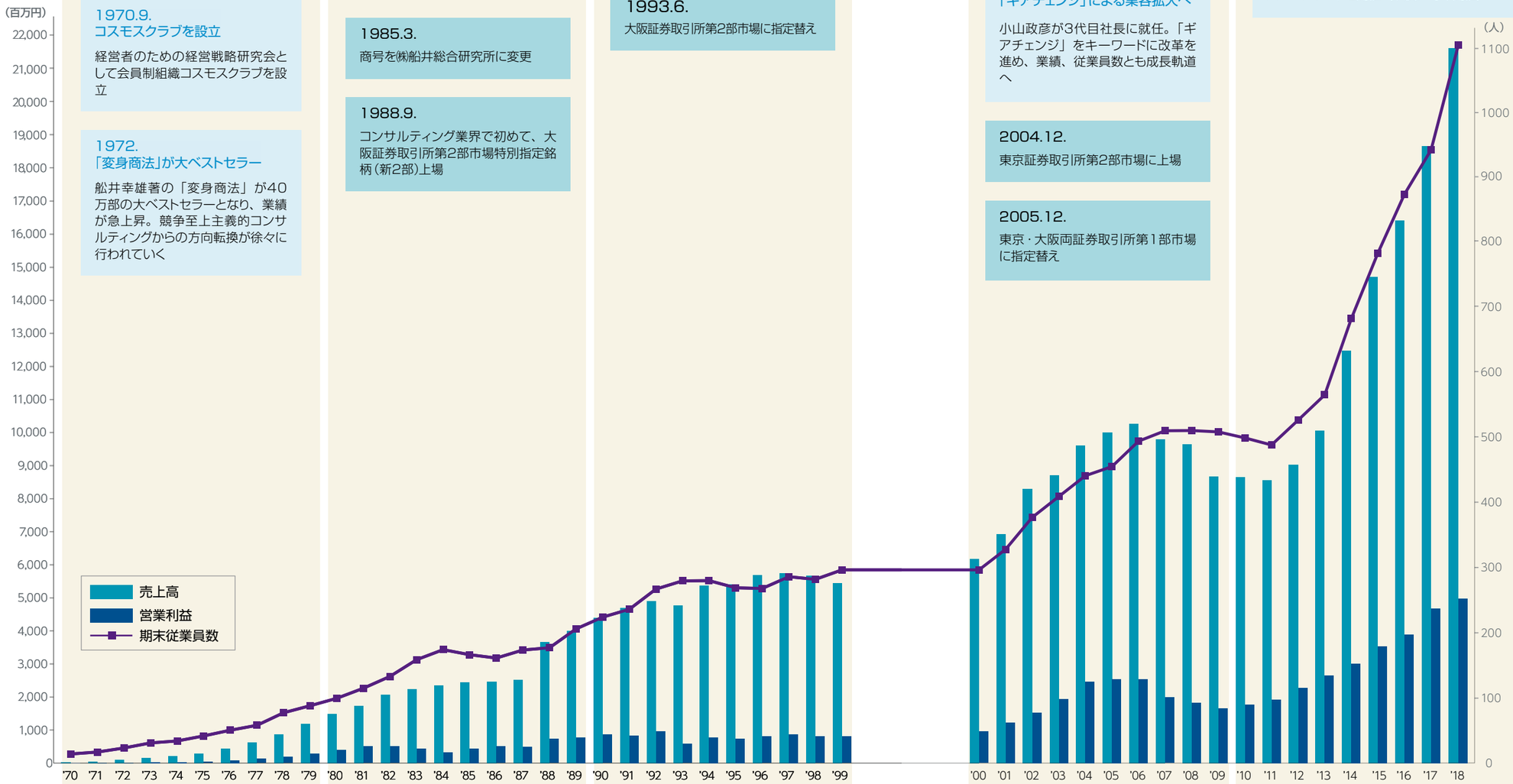
2018.2.

㈱HR Force設立（現・連結子会社）

2018.6.

新和コンピュータサービス㈱を完全子会社化（現・連結子会社）

2018年 経営研究会全国大会
第92回経営戦略セミナー



オフィスの変遷

大阪本社

1970.
大阪市槍屋町に設立

1981.
大阪市北区太融寺に移転

1996.
大阪市北区
豊崎に移転

2010.
大阪市中央区北浜に移転（現・大阪本社）
淀屋橋セミナープレイスを開設

東京本社

1971.
東京事務所を開設（港区六本木に）

1983.
東京本社を東京都港区芝に
移転（現・芝オフィス）

1993.
東京本社を東京都品川区西五反田
に移転（現・五反田オフィス）

2005.
東京本社を日本生命丸ノ内ビルに
移転（現・東京本社）